

在来線駅ホームにおける安全対策について

当社では在来線駅ホームにおける安全を確保するために、非常通報灯や転落検知マットの設置、避難スペースや避難用ステップの設置、内方線付き点状ブロックへの取替、降車優先エリアの設置などを実施しています。

今年度も、引き続き非常通報灯（出発側）および内方線付き点状ブロックの整備・拡充を行うとともに、放送やポスター等を通じて、お客様に呼びかけていきます。

1. 非常通報灯（出発側）の整備 【別紙1】

非常通報灯 （進入側）	お客様のご利用の多い駅を中心に 59駅に設置済
非常通報灯 （出発側） 【※1】	平成25年度までに59駅中43駅に設置済 平成26年度に残りの16駅に設置 ⇒ 全59駅で進入側・出発側両方の 非常通報灯の整備が完了



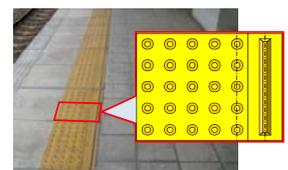
【※1】 非常通報灯（出発側）の設置とあわせて、非常停止ボタンを増設

2. 内方線付き点状ブロックへの取替 【別紙1】

○点状ブロック：平成12年度までに全395駅で設置済

○内方線付き点状ブロック：

	お客様のご利用が 1日1万人以上 【※2】	お客様のご利用が 1日1万人未満	合計
平成25年度 までに整備済	全44駅	42駅	86駅
平成26年度 整備計画	—	8駅	8駅



【※2】 平成23年8月の国土交通省検討会の取りまとめ内容

「利用者数1万人以上の駅は、内方線付きの点状ブロック等の整備を可能な限り速やかに実施」

3. ホームの安全確保に関わるポスターの刷新 【別紙2】

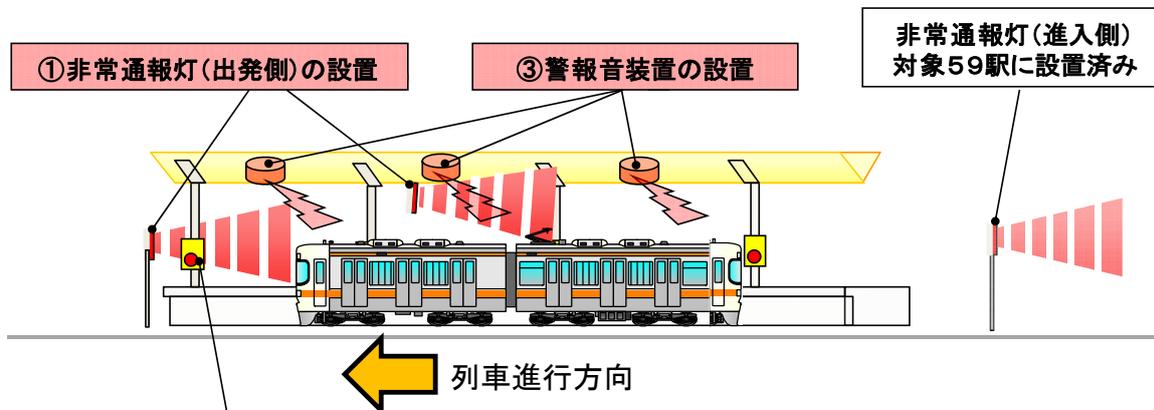
- これまでお客様に放送やポスター等で、繰り返し安全確保のための呼びかけを実施。
- 特に、昨今、スマートフォン等を使用しながらの「ながら歩き」をされるお客様が増えているため、昨年12月に注意喚起ポスターを新規作成。あわせて、これまでのホームの安全確保に関わるポスターを全面刷新し、統一感を持たせて訴求効果を向上。



1. 非常通報灯（出発側）の整備

今年度の対象駅：16駅

（相見、西岡崎、三河安城、野田新町、逢妻、南大高、大高、熱田、枇杷島、清洲、木曾川、菊川、愛野、瑞浪、御殿場、松阪）



②非常停止ボタンの増設



①非常通報灯



②非常停止ボタン



③警報音装置

①非常通報灯（出発側）の設置

非常停止ボタンを押すことで、非常通報灯が赤色に点滅し、列車の出発時においても運転士、車掌、駅係員に異常を知らせます。

※（進入側）は、進入してくる列車の運転士に異常を知らせます。

②非常停止ボタンの増設

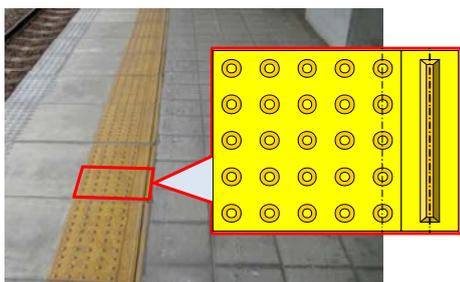
今回の整備に併せて、非常停止ボタンを増設します。

③警報音装置の設置

非常停止ボタンが押されたことをより迅速・確実に乗務員や駅係員に伝えるために、スピーカーから警報音を発し、音でも異常を知らせます。

2. 内方線付き点状ブロックへの取替

本年度の対象駅：8駅（大高、幸田、高塚、金谷、用宗、瑞浪、四日市、下油井）



内方線付き点状ブロック

3. ホームの安全確保に関わるポスターの刷新

(1) 非常停止ボタン

(2) 黄色線内歩行

(3) 駆け込み乗車防止

旧



新



(4) 線路内立入禁止

(5) ながら歩き防止

旧



無し

線路内にもを落とされた場合や、線路に転落した方を発見した場合は、駅係員にお知らせください。
緊急の場合は、列車に向かって大きく手を振って、乗務員に異常を知らせてください。

【新規作成】

新

